

図書館ひろば



市立図書館にて

「夏休み宿題応援！新聞をつくろう」開催

7月18日（土）相模原市立図書館中集会室で「調べ学習講座」が開かれました。当日は、夏休み初日にもかかわらず、小学校3年から5年生までのお子さんが参加してくれました。

最初に講師から、新聞で使われる言葉の力について聞きました。書いてある記事を目立たせるため、見出しは大事です。そこで見出しを工夫するクイズをしました。そして自分たちが調べるテーマを探しに、図書館の児童コーナーに行き、本を当たりました。テーマは、「きゅうり」「昆虫のはじまり」「音符」「ひまわり」「かいこ」とさまざま。テーマに沿った資料が見つけれなくて、調べのお手伝いをするサポーターと相談しながら、テーマを今一度考え直す子どももいました。本を借りた子は、新聞記事にしたいことがらが載っている箇所を、付箋を貼っていました。

後半は調べたことをどんどん書き出し、それを新聞の形にまとめました。コピーした図や写真を工夫しながら載せたり、色ペンを使って読みやすくしたり、すばらしい作品が出来上がります。調べる方向性が決まると、子どもたちは、2時間休むことなく作業に取り組んでいました。出来上がった作品には、参加者全員で感想を付箋に書いて、貼っていきます。お迎えに来られた保護者の方にも、書いていただきました。貼られた付箋を丁寧にまとめて、持って帰った子どもたちの姿が印象的でした。こういったイベントを通して、子どもたちが図書館の色々な使い方を知ってくれるといいなと思った1日でした。参加して下さいみなさま、協力くださった相模原市立図書館職員、サポーターのみなさま、ありがとうございました。



橋本図書館にて 「ネットと本で調べ学習体験講座」開催

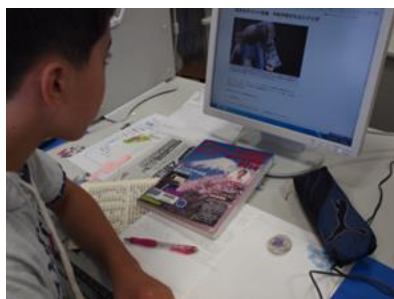
市立図書館に引き続き、夏休み宿題応援講座第2弾。8月8日（土）橋本図書館研修室で「ネットと本で調べ学習講座」が開かれました。今年は、小学3年生から中学1年生まで、8名のお子さんが参加してくれました。4回目を迎えるこの講座。昨年からのリピーターのお子さんも数名いました。

はじめに講師から、調べ学習の流れを教わります。調べるテーマを決めた子どもたちは、図書館の児童コーナーへ本を探しに行きました。あらかじめテーマを決めてきて、調べる内容を書き出してきた子もいました。また、実際に本を見ると調べる対象を変えることもあります。テーマは、「徳島県」「いか」「くも」「パンダ」「フランス」「麻溝動物公園にいる動物」「うま」「ギリシャの経済危機」。時事に関しては、新しい情報を得るためにネットも

利用します。信頼性の高いウェブサイトを参考にするように、講師やサポーターが声掛けをしました。

ある程度情報を書きだしたところで、講師からまとめ方を説明してもらい、調べたことをどんどん書き出し、それを冊子や、大きな画用紙に書いたり貼ったりします。今年は深く調べる子どもたちが多く、なかなかまとめに入らず、サポーターは少々心配したものの、残り30分でどんどん仕上げていきました。出来上がった作品には、市立図書館同様、参加者全員で感想を付箋に書いて、貼っていきます。お迎えに来られた保護者の方にも、書いていただきました。

市立図書館、橋本図書館と2館で連続した調べ学習講座でしたが、それぞれ違った視点での調べ学習でしたので、サポーターにとっても大変勉強になりました。



学習会開催！ 合理的配慮ってなんだろう ～障害者の読書のために

2015年10月24日(土)

13:30～16:30

相模原市立図書館(2階)中集会室
(JR 横浜線南口徒歩3分)

講師 野口武悟氏(専修大学教授)

平成28年4月1日より「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」が施行されます。この施行を前に、障害者サービスに詳しい野口武悟さんを迎えて、前半は、特に視覚障害者の方の読みの困難さやニーズについてお話を伺います。後半は、グループに分かれて、私たちができる支援のあり方を話し合います。

日ごろ視覚障害者の方へ支援を行っている人から、図書館・学校関係者、これから携わってみたいと思われる人まで、興味のあるかたはぜひご参加ください。参加費無料。申し込みは不要。直接会場にお越しください。

旧鎌倉図書館

保存・活用へ！

今年2月、「図書館とともだち・鎌倉」さんを訪問した際、旧鎌倉図書館の解体撤去のお話をうかがい、また、機関紙「図書館ひろば10号」に事務局の黒瀬さんがその経緯を寄稿してくださいました。その後を心配していましたが、8月25日の各社新聞に、旧鎌倉図書館が保存活用されることになったという、以下のような記事が載りました。

「鎌倉市の松尾崇市長は24日の記者会見で、市立御成小敷地内(同市御成町)にある旧鎌倉市図書館の解体・撤去方針を取り消し、保存・活用を目指すと表明した。9月市議会に耐震補強などの調査費を盛り込んだ補正予算案のほか、同図書館など歴史的建造物の保存費用を外部から募る「景観重要建造物等保全基金」(仮称)を創設するための条例案を提出する。」(毎日新聞)

とともさんの地道な活動が実を結びました。



2015年11月29日(日)
相模原市立図書館にて
「図書館ひろば」が開催されます

大集会室では「がんばる相模原の本屋さん図書館」「朗読会」など、さまざまな企画を予定しています。お楽しみに！



図書館と市民をつなぐ会のHPが変わりました

「図書館と市民をつなぐ会・相模原」の日ごろの活動を発信しているホームページ。アドレスが変更され、内容も刷新されました。 <http://toshokan.org/>

図書館で開催される「おはなし会」や博物館でのイベントなどが一目でわかる「イベントカレンダー」など、使えるコンテンツ満載です。ぜひご活用ください。

「相模原市録音奉仕会ひばり」 寄稿 吉崎恵子さん

10月24日に開催される学習会「合理的配慮ってなんだろう」を前に、視覚障害者の方へさまざまな支援を行っている「相模原市録音奉仕会ひばり」代表の吉崎さんに、会の歴史や、日々の活動のようすを寄稿していただきました。今号、次号と連載します。

「目の不自由な方などへ

耳から得る情報のお手伝いをします」

相模原市録音奉仕会ひばりは、相模原市内の視覚に障がいのある方や高齢の方などに、印刷された情報を録音図書にしてお届けするボランティアグループです。私たちは目の不自由な利用者を「読者」と呼んでいます。

こんなことをしています

- * 個人の希望に応じた本、雑誌、情報誌、専門誌、取扱説明書、新聞、カタログなどを録音図書（CD）にします
- * 個人の希望に応じて、図書館などを利用して、対面で読むこともしています
- * 相模原市、医師会などの広報紙を録音図書として製作し、読者へ送ります
- * 社説やコラムなども読んでCDに製作し、読者へ送ります

「相模原市録音奉仕会ひばり」は1978年5月に設立され、37年の歴史があります。スタート時は20名の会員でしたが、今年度（2015年度）の登録会員は84名です。

現在まで述べ3400人近い方々が、わが録奉に関わって下さったこととなります。

また、現在の読者はおよそ100名、利用者一人一人の希望に応じて録音図書を送り続けています。

念願の指定を受ける

2014年2月文化庁から「著作権法第37条第3項の視覚障害者等のための複製又は自動公衆送信が認められる者の指定」を受けました。これにより録音図書製作を進めやすくなりましたが、責任も伴い心引き締めて活動にあたりたいと思っています。

会の活動を大きく分けると…

- 「リーディングサービス事業」
- 「受託製作事業」「自主製作事業」
- 「ミニ情報事業」
- 「発送・返却作業」「その他」があります。

次号ではさらに詳しい活動の様子をお伝えしていきます。

編集後記

今年も調べ学習講座を開催できました。しかも市立図書館、橋本図書館2館で。毎年真面目に取り組む子どもたちを見て、あの集中力を見習いたいと思います。10月、11月は「学習会」、「図書館ひろば」と企画が目白押しです。次回、報告をお楽しみに。(Y.N.)

図書館ひろば 第11号 2015年9月10日発行

〒252-0302 相模原市南区上鶴間4-23-3 Tel 090-4947-7147 (代表 山本)

Email tunagukai_sagamihara@yahoo.co.jp ホームページ <http://toshokan.org/>